

1 魅力

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
愛着	住民がまちを大事に思っているか	・川西を学び、愛着を持ち、文化やまちづくりに参加 ・参加型事業、プロジェクトを創出	・楽しみをつくっていく。文化や自然をつないでいく	・情報の提供 ・イベントの企画、コーディネート（住民参加型の取り組み） ・市民に向けての住みやすさを考える
シンボル	地域固有のシンボルがない	・寄付金を募る	・市の重要事業への位置づけの依頼	・寄付金のPR ・勝福寺古墳の整備 （前方後円墳が見渡せるようにする）
	川西市を自慢できるものがない	・もっと川西を知る ・多田神社を広める	・楽しみをつくる ・サポート隊募集 ・コミュニティ内でもコミュニティとして活性化する取組等の検証 ・多田神社でコミュニティイベント等の成功祈願を行う	・街の宝物サポート隊を結成する。（清和源氏や多田神社、サポート隊を4班のメンバー有志で結成） ・教育・観光など文化を広く捉え、川西市としての目玉を新たに創出 → 能勢電とのタイアップ（各駅への足湯設置、駅名を活かした観光タイアップ、能勢電への源氏プリントなど） ・川西市に副題名をつける （例：川西源氏市）
歴史・文化財	文化財の理解が進んでいない	・たくさんの知識をつける	・資料等を提供する	
	文化財が点在している	・足を運ぶ	・ウォーキングマップを作って点を線で結ぶ	・ウォーキングマップを作成する（熊野古道を参考に） ・web等で歴史と併せて紹介する ・文化財をめぐるループバスの運行
	文化財が活用できていない	・機会があればイベントに出来るだけ参加する ・友人にPRする ・まず行ってみる（祭や初詣等）	・友人とも話題にする ・立地場所を明確化する	・イベント等をホームページでこまめに発信する ・標識やアクセスを整備
	・三ツ矢記念館の活用		・記念塔付近の草抜きをする	・市の花を植え、観光地とする（例：アンデルセン公園） ・池田市と意見交換 （カップヌードル記念館をモデルに） ・ビジネスモデルを整理（アサヒと協力）
	・加茂遺跡 （埋められており見ることができない）			・遺跡に見える形にし、見学できるようにする （例：尼崎市の田能遺跡） ・加茂遺跡資料館で勾玉を販売
	・多田神社	・多田神社を知る		・キャッチコピーを作成する（単純で分かりやすく）

1 魅力（続き）

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
歴史・文化財	源氏まつりが地域だけの祭りになっている	・積極的に参加する ・子どもを祭りに参加させる	・各地域からの応募を積極的にする ・自治会からも呼び掛ける	・各地域の人数の割り当てを平等（幅広く参加できるように）にする
	文化財に魅力を感じない			
集客施設・イベント	行事を知るのに市内南中北で温度差がある		・町内の回覧板で通知する	
	知明湖キャンプ場の活性化	・回数多く利用する	・ゴミなどを持ち帰り美しくする	・水遊び場を増やす
	花火大会の活性化	・参加する	・有料席などの増設	
情報	文化・歴史、イベント等が知られていない、知名度が低い	・文化・歴史資源を把握する ・市内の史跡を歩く ・体験する ・趣味を通じて知見を深める。 ・知人、友人、家族との情報交換	・自治会等に歴史クラブ創設を呼びかける ・歴史を学ぶ場を作る ・サークル活動、勉強会の中で住んでる町を知る ・子どもが参加しやすい体験型イベントを行う ・電子媒体を用いて地域主催のイベントの定期的な情報発信（感想を添えたもの） ・多田神社のHPを改良する	・小中学校で歴史の授業を充実させる。 ・若年層が興味を示すものを優先に伝える（漫画冊子の配布等） ・子どもが参加しやすい体験型イベントを行う ・電子媒体を用いて地域主催のイベントの定期的な情報発信（感想を添えたもの） ・川西の歴史の資料を市のHPで公開（本にして配布すると費用がかかる） ・近郊市町村との連携、共同でのイベントや祭りを行う ・イベント回数の増加 ・企業との連携 ・統一感のある案内板の設置 ・情報発信のため市HPを整備改良 ・移住者に対してメールで情報提供
	・三ツ矢サイダー発祥の地の知名度が低い			・アサヒ飲料と連携する。 → 川西独自の歴史を感じる商品(味)を開発する → 関西オリジナルブランド（ウィルキンソンと三ツ矢サイダーとカルピス）でPRする → 川西の水を使ってもらう（平野ジャパンサイダーの復活） → 炭酸水を飲料用だけではなく、洗顔やお風呂用に発売する。

1 魅力 （続き）

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
情報	場所が分かりにくい、案内が少ない	・道がわからず困っている人に道案内をしてあげる	・案内マップ・標識の整備 ・パンフレット等の配布方法を考える	・案内マップ・標識の整備
	・勝福寺古墳	訪ねてみる	案内板の明確化	行先を表示するものが少なく小さいため改良する
	・源氏の里		インフォメーションを増やす	・かわにしIC出入口付近に源氏の里案内板の設置 ・インフォメーション増設（駅・道端・史跡前） ・自販機の色を青（アサヒ）から緑（三ツ矢サイダー）にする

（意見）

- ・観光客を呼ぶよりも、住民・子どもの週末に何をサービスし、楽しませてもらっているのが重要
- ・文化＝歴史ではない。文化は生活や楽しみの要素が大きいの、これと組み合わせないと普及しない。
- ・歴史マニアの町にはしたくない
- ・行政は予算も限られるため、企業の事業に結び付けるコーディネーターの役割を担ってほしい。
- ・文化遺産の集約、博物館の新設
- ・源氏まつりが地域の祭りでもよいと思っている
- ・文化財をただ話だけにせず、「見て楽しい・面白い・体験できる」ようにしないと誰も来ない

2 情報

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
市の方針	まちの目指すべき姿がわからない	・美化に努める。花を植える	・知り合いでなくても声をかけることで治安が良くなる	・花好きの人が多いため、市全体でそういう活動の呼びかけをする ・具体的な姿をハード、ソフトの両面で定義する
公開・広報	行政から市民への情報発信が少ない。	・SNS等への発信 ・市のHPやインターネットを通じて勉強する	・地域特有のイベント情報等を行政側に共有 ・自治会活動等で構成員への周知を行う	・情報収集、HP等への情報掲載 ・市のHP等で頻度を高く情報発信する ・新しく住民になる方に、情報提供する仕組みを作る ・カフェに川西情報誌を配布する ・広報誌の種類をターゲット別に分けてメッセージを強化する

（意見）

- ・住民登録時に希望する方からメールアドレスを収集し、イベント情報を配信してはどうか
（例：住民登録時に市の歴史等の情報冊子を提供するなど市民意識を向上させる）

3 くらし

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
交通	駐車場が不足している 駐車場が狭い 車の渋滞が多い (北部から能勢口へ)	・公共交通機関を使う	・駅までのバス本数を増やすよう提案する	・川西能勢口駅の交通網や道路の整備
	国道沿いで街灯がないところがある	・どこに街灯がないか把握し、市に伝える		・危険性を調査する ・危険性のある場所に街灯を設置
	能勢電が高く、利用者が少ない	・利用しない	・電車を楽しめるプログラム(足湯やハイキング)を提案する ・歴史巡りで1回特別チケット ・電車に川西市の宣伝のパンフレットを貼る	・季節ごとにイベントを企画して利用者を増やす
住民意識	歩きたばこをする人が多い	・呼びかけ ・歩きタバコ等、他者の嫌がる行為をやめる	被害を受ける人がいるということを意識してもらう	・ポスター作成や呼びかけをする ・啓発活動の継続
美化	町に雑草が多く、ごみも落ちている。	・ボランティア活動に参加する	・「ごみの不法投棄禁止」の看板が色あせて見えないため補修する。	・時給をつけるなどして、清掃をもう少し仕事として取り入れてはどうか。
税・使用料	介護保険の金額がだんだん高くなっている			

(意見)

- ・水道料金のクレジット払いができるようにしてほしい

4 産業

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
特産品	川西市の特産品が買いにくい(専用のショップでないと買いにくい)	・買いに行ってみる	・地場スーパーなどもう少し取り扱ってみる	・市内でもっと売り出す